

羽村  
新春の  
つどい

# 鈴木おさむ 衆院東京25区予定候補、谷川智行 衆院比例東京ブロック予定候補 暮らしを守る政治つくるうと心から訴え

20日に羽村市内でおこなわれた日本共産党の新春のつどい。つどいには、鈴木おさむ25区予定候補、谷川智行比例区予定候補も参加し、年内に予想される解散・総選挙で日本共産党を伸ばして欲しいとの訴えを心からおこないました。訴えの要旨をお伝えします。

## 鈴木おさむ 25区予定候補



私は、いま、国民が政治を動かす新しい時代がはじまっていることを実感しています。薬害C型肝炎の問題では、原告団のみなさんの命がけの訴えが、それを支持する国民世論を背景にして、とうとう国を動かしました。また、昨年の参議院選挙では、自民党・公明党が大きく後退し、テロ特措法の問題でも、最後まで与党を追いつめることができました。

ぜひこうした新しい時代の流れをもっと前にすすめて、国民の暮らし、平和を守る新しい政治を一緒に作りましょう。そのためにも、わたくし、鈴木治を国会に押し上げてください。日本共産党を伸ばしてください。よろしく願いいたします。

## 谷川智行 比例区予定候補



私は医師として、今の政治がどれだけ国民の健康をないがしろにしているのか、日々痛感しています。

4月から始まるとされている「後期高齢者医療制度」。保険料はものすごく高くされます。受けられる医療の中身も制限される方向です。お年寄りにこんなひどい仕打ちをする制度は絶対にストップさせたい。

国民の命を守るという当たり前の政治を実現するため、ごいっしょに頑張っていきましょう。

現在、衆議院の比例東京ブロックでは共産党は1議席。前回の選挙で、あと6万8千票あれば、2議席目を獲得することができました。定数17名の東京ブロックで、共産党が2議席を獲得することが、政治を良くするためにはどうしても必要です。私もそのために全力をつくします。

## 住み続けられる 羽村団地に

UR（都市再生機構）、国交省から「団地の削減・売却問題」についてのききとりに参加してきました（1/22衆院第二議員会館）

昨年末、政府はURなどの「整理合理化計画」を閣議決定しました。URはこれをうけて団地ごとの「再生・再編方針」を発表。10年後までに5万户を削減するとしています。羽村団地はこれまでと同様に維持・管理される方針となっていますが、その確かな保証はありません。

政府とURから、団地の削減・売却方針について説明を受け、住居の安定と向上を実現するよう要求をおこなってきました。羽村からは鈴木議員が参加しました。



響くうたごえ



無料法律相談のお知らせ  
2月14日（木）午後1時30分からです。  
予約は、鈴木議員の携帯電話まで  
（080-1058-9450）

日本共産党羽村市委員会の活動などについてお知らせします。

羽村民報 2008年1月27日 No.882  
発行 羽村民報編集委員会 責任者 野崎 衷  
事務所 電話 579-2132 Fax579-2106